

犬山高校生との意見交換フィードバック	
【概要】	
○日時	令和6年3月18日(月)午後1時30分～午後2時30分頃
○会場	犬山高校
○発言者	4組
【発言項目】	
○発言タイトル	「安心・安全の町づくりのために考えること」 ○学年2年
○内容	犬山駅西交差点の地下通路が老朽化していて、暗くて怖い。使いにくいので改善して欲しい。また、木曽川の堤防上の歩道(通学路)に街灯がなくて暗い。また夏になると草が伸びるので草刈りして欲しい。
○発言タイトル	「高校生が考える犬山市をより良くするための提案」 ○学年2年
○内容	犬山高校西側の道路が狭い。通学時間帯には歩行者が集中し、車道との白線はあるが、電柱や標識の支柱があるため狭く、安全を確保して欲しい。また若者が遊べる場所が少ないため、市外に流出している若者向けの店などを増やして欲しい。
○発言タイトル	「犬山市をより明るく」 ○学年1年
○内容	城下町以外はSNSで取り上げられるところは少なく、遊びに行くにも名古屋などへ出てしまう。自然豊かなSNS映えするスポットよりも、若者が写真を撮るのはショッピングモールの中などで、集まって喋れる場所がもっとほしい。
○発言タイトル	「犬山市に大型商業施設を」 ○学年1年
○内容	高校生の放課後・休日の過ごし方をアンケート調査した結果、平日は同級生と、休日は家族と過ごすことが多い。遊ぶ場所は、大型商業施設やボウリング、カラオケ等アミューズメント施設が多く、市外に出ていく結果を受けて、犬山市にも大型商業施設が欲しい。
【議会からのフィードバック】	
地下通路の老朽化や通学路の危険箇所、除草の問題など、学生の皆さんが生活する中で実際に感じている市内の課題点を細かく分析されており、我々議員も大きな課題として捉えています。また、市内に若者が過ごす「場」が不足しており、市外へ流出している状況が浮き彫りになりました。ハード面の整備にかかる課題については、我々も今後の議員活動の中で注視し、市に要望してまいります。また、若者が流出しない活気あるまちが求められており、そのためにも今後は子育てしやすいまちの実現などを通じた移住・定住促進施策が重要となってきます。学生がまちの将来に魅力を感じ、ファミリーが子育てしやすく、消費人口が増え、需要を求めて商業施設が立地し、さらなる移住・定住が促進されるという好循環を生むために、議会が一丸となって取り組んでいきます。	